

# 自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 12, No. 3

神奈川県立生命の星・地球博物館

Sept., 2006



## 海水を飲みに来るアオバト

*Sphenurus sieboldii* (Temminck)

(ハト目ハト科)

神奈川県指定天然記念物  
「大磯町照ヶ崎のアオバト集団飛来地」

2005 年 5 月 27 日

加藤ゆき 撮影

かとう  
加藤ゆき (学芸員)

アオバトは中国南部、台湾、ベトナム北部に分布するハトの仲間で、国内では北海道から九州まで、留鳥または漂鳥として生息しています。

ハトが海水を飲むなんて本当かな？と疑問に思う人も多いでしょう。大磯町照ヶ崎海岸では、5 月から 11 月にかけて、一日に数十羽、数百羽ものアオバトが飛来し、岩場で海水を飲む光景を見ることができます。長年、この地域でアオバトを観察している団体“こまたん”によると、多いときは一日で三千羽ほどが飛来したとのことでした。たくさんの緑色のハ

トが岩場へ次々と飛来する光景はさぞ圧巻だったことでしょう。この珍しい習性は、北海道や群馬県、静岡県でも報告されています。

なぜ海水を飲むのかは分かっていません。塩分を多く含む温泉水や味噌、醤油工場の廃水を飲むことも報告されていることから、ミネラルを取るためではないかという説が一番有力です。

この光景は、時期さえ間違えなければ、だれにでも見ることができます。時間帯は早朝がお勧めです。早起きをして出かけてみませんか？